

【技術分類】 5－2－3 う蝕治療／治療用器材／う蝕治療用器具

【技術名称】 5－2－3－1 エキスカベータ

【技術内容】

う蝕治療において、軟化象牙質やう蝕象牙質の除去するために使用する器具である。

材質はステンレス鋼やチタンなど金属製である。形状はスプーン状となっており、ほぼ全面に刃がついており、どの部分を使用しても、また、回転させながらのう蝕象牙質の除去が可能である。ネック部の長さやスプーン形状が異なるものがある。

エキスカベータはう蝕治療で最近提唱されている MI (Minimal Intervention：最小限の歯質削除) の概念に基づき、う蝕象牙質を過不足無く、しかも最小限の歯質削除に最適な器具である。

軟化象牙質およびう蝕象牙質の除去はう蝕検知液で染色し、染色部分のみを剥ぐように除去していく。これを繰り返すことで最小限の歯質除去でのう蝕治療が可能となる。

【図】

図 1 エキスカベータ

(a) 先端部：直タイプ



(b) 先端部：曲タイプ



(c) 先端部の刃付け加工

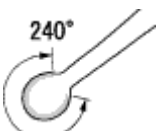


図 2 エキスカベータによるう蝕象牙質の除去



【出典】

図 1： 表題：「エキスカベーターラウンド」、関連箇所：「Dental デンタルサイト＞ホーム＞製品情報：製品ガイド＞基本＞エキスカベーター＞エキスカベーター：エキスカベーターラウンド」、著者：株式会社 YDM、掲載場所：株式会社 YDM ホームページ、検索日：2007 年 1 月 30 日、アドレス：<http://www.ydm.co.jp/dentists/products/diagnos/01601.html>

図 2： 論文名：「充填関連の器具・機材 02 スプーンエキスカベータ」、刊行物名：「DENTAL DIAMOND 増刊号 私の愛すべき道具たち」、巻数：31、号数：444、発行年月日：2006 年 7 月 1 日、著者名：秋本尚武（鶴見大学歯学部第 1 歯科保存学教室）、発行所：株式会社デンタルダイヤモンド社、出典箇所：15 ページ、図番号：図 4、図面名称：「表層の感染象牙質の削除は、ほぼ無圧で行う」